「地区委員会の手引き」2010-11年度未来の夢に関する補遺

未来の夢試験（パイロット）地区

以下の変更は、2010年7月から2013年6月まで実施されるロータリー財団未来の夢試験段階（パイロット）に参加する地区に適用されるものです。試験段階の終了後には、全ロータリー地区に未来の夢計画が導入されます。

試験地区は、未来の夢計画の下、ロータリー財団に関して新たな責務を担うことになります。これには、ロータリー財団の補助金資金を受け取り、管理するために必要な資格を満たすこと、また、クラブが参加資格を満たす手続きを監督することが含まれます。クラブを援助するにあたり、次の情報を参考としてください。

試験地区の地区ロータリー財団委員会には、ポリオ・プラス、補助金、資金推進の3つの小委員会が設けられます。以下の各地区委員会に、ロータリー財団関連の追加の責務が割り当てられます。

- 地区大会委員会
- 財務委員会
- 会員増強委員会
- 広報委員会
- RI国際大会推進委員会
- 研修委員会

未来の夢：ロータリー財団の新しい補助金構成

未来の夢計画は以下を目的としています。

- 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- 測定可能な結果を伴う、持続可能な活動を支援すること。
- ロータリアンにとって関連性のある世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

最新情報とニュースが、随時www.rotary.org/ja/fvdistrictに掲載されます

シェアおよび地区財団活動資金（DDF）

未来の夢計画の下でも、シェア・システムはこれまで通りに運営されます。シェア・システムは、ロータリー財団の資金を世界中に分配し、ロータリー地区の資金使途の決定を促すものです。ロータリー財団への寄付は、シェアを通じて、新地区補助金、グローバル補助金、ポリオ・プラス基金への寄付、恒久基金へと形を変えます。

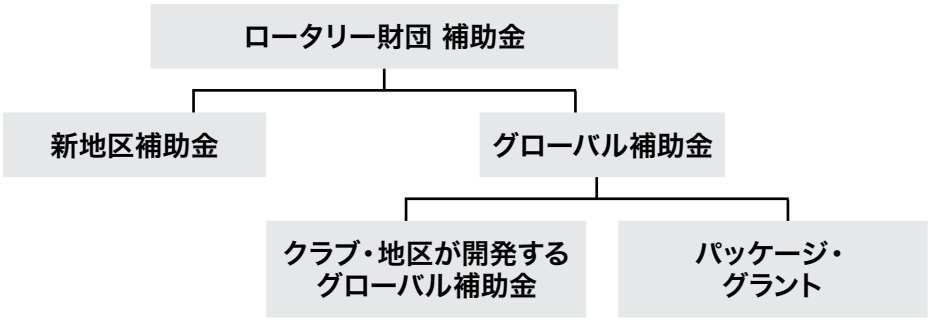
ロータリー年度末に、各ロータリー地区の年次プログラム基金への寄付は、次の2つの基金に分けられます。

- 50パーセントが国際財団活動資金（WF）へ
- 50パーセントが地区財団活動資金（DDF）へ

財団は、国際財団活動資金となった資金を、さらに維持可能なプロジェクトまたは6つの重点分野のいずれかを支援する補助金のために使用します。地区は、地区財団活動資金となった資金を、新地区補助金またはグローバル補助金への参加を通じて使用します。

財団は、寄付が受領された3年後にプログラムのためにこれが使用されるという、独自の資金周期を採用しています。この周期により、地区がプログラムの計画や参加者の選考に充てる時間が得られるだけでなく、財団がこの寄付を投資活用することが可能になります。投資による収益は、全般的な管理運営費と寄付増進の経費を賄います。

新しい補助金構成の下、財団は、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類の補助金を提供します。また、グローバル補助金は、クラブと地区が開発したプロジェクトへの補助金と、パッケージ・グラントの2つのオプションがあります。



新地区補助金は、クラブと地区が、特定の関心に応じて地元や海外の緊要なニーズに取り組むことを可能にするもので、地区によって管理・運営されます。クラブがプロジェクトの資金を地区に要請し、地区が、財団に申請する新地区補助金の金額を決定します。補助金の受領後、地区がクラブに資金を支給します。地区は、地区財団活動資金（DDF）の最高50パーセントまでを、補助金に充てることができます。地区は、ポリオ・プラスを支援したり、より規模の大きいグローバル補助金に参加することによって、DDFの使用を50パーセントよりも少なくすることもできます。

グローバル補助金は、財団からの大きな支援の下、より長期的な視点から持続可能な活動に参加する機会を提供するものです。この補助金は、財団の使命に関連する6つの重点分野の一つにおいて、多大な影響をもたらす持続可能で大規模なプロジェクトに資金を提供します。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

クラブと地区は、重点分野の範囲内で独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。また、協同組織と合同でロータリー財団が立案した長期的なプロジェクトを支援するためにパッケージ・グラントのスポンサーとなることもできます。

クラブと地区が開発したグローバル補助金プロジェクトの資金は、提唱者（スポンサー）からの拠出金と、それに対する国際財団活動資金（WF）からのマッチング（上乗せ資金）によって調達されます。パッケージ・グラントとは、財団とその協力組織が開発するものです。この場合、国際財団活動資金（WF）と協力組織が資金を100パーセント提供し、ロータリアンが補助金プロジェクトの実施にあたります。

ロータリー財団の新補助金に関する詳細は、「授与と受諾の条件」をご参照ください。

参加資格と資金管理

未来の夢試験段階に参加する地区は、ロータリー財団の補助金資金を直接管理する役割を担います。こうした新たな責務に備え、新地区補助金とグローバル補助金の受領資格を満たすため、地区はまず資格認定手続きを踏みます。これは、地区が確実に補助金活動を管理するため、法律、財務、会計の面で適切な体制が整っていることを確認するものです。このプロセスを経て資格を満たすには、「地区の覚書（MOU）」を読み、これを実施することに同意しなければなりません。これには、新地区補助金の口座の受取人情報を提供すること、年次財務監督システムを設けること、グローバル補助金を受けることに関心のある全クラブを対象に、地区ロータリー財団補助金管理セミナーを1回以上開催し、地区内のクラブが参加資格を満たすのを監督することが含まれます。資格認定に関する追加の情報はwww.rotary.org/ja/fvdistrictをご参照ください。

10ページ「補遺資料1：地区委員会の役割と責務」の「ロータリー財団委員会」の項を以下と差し替えてください。

地区委員会の役割と責務

ロータリー財団委員会

地区ロータリー財団委員会は、ロータリアンを教育し、意欲を高め、財団のプログラムや地区の募金活動に参加するようロータリアンに働きかけてガバナーを補佐します。この委員会は、ロータリー財団とクラブ会員との間の連絡にあたり、地区ガバナーは、この委員会の職権上の委員を務めます。

委員長

地区ロータリー財団委員長は、ロータリー財団の諸活動に関して顕著な知識と経験を有していなければなりません。委員長は、委員会の全活動を調整し、すべての小委員会に職権上の資格において出席します。

未来の夢計画の試験期間中は、財団の活動に継続性を持たせるため、地区ロータリー財団委員長は3年任期で任命されます。

責務

- 地区のあらゆる財団活動について、毎月、地区ガバナーに報告する。
- 地区ガバナーとともに、地区財団活動資金（DDF）の配分に関して地区を代表し承認の署名をする。
- グローバル補助金申請書に不備がないことや、申請するクラブが資格を得ていることを確認する。
- 地区の資格認定手続きと財団の資金管理要件の順守について監督を行う。
- ロータリー財団の活動がほかの委員会に適切に組み込まれるよう、ガバナーならびにほかの地区委員会と協力する。
- クラブ財団委員会に支援を提供する。
- ガバナー・エレクトが財団地区目標を設定する前に、ロータリアンからの考えや意見を把握するのを助ける。
- 地区ロータリー財団賞の受賞資格を満たす候補者の推薦にあたり、ガバナーを助ける。

小委員会の構成*

地区ロータリー財団委員会委員は、3つの小委員会の委員長を務めます。

- **ポリオ・プラス小委員会：**ポリオ撲滅に対するロータリーの取り組みを支援し、ポリオ・プラス活動への参加を奨励する。
- **補助金小委員会：**クラブが資格を取得できるよう監督し、ロータリー財団補助金の申請にあたってクラブを援助し、補助金に関連する活動について不正があった場合には報告し、財団補助金を広く周知させる。
- **資金推進小委員会：**年次プログラム基金と恒久基金の地区募金目標に向けた活動の調整を図り、寄付の懇請を行い、さまざまな寄付形式についてロータリアンに情報を提供する。

その他の研修要件

地区ロータリー財団委員会委員は全員、ロータリー財団地域コーディネーターにより実施されるロータリー財団地域セミナーに出席するものと期待されています。

委員会のその他の責務

以下の各地区委員会に、ロータリー財団関連の追加の責務が割り当てられます（詳細なリストは、「補遺1：地区委員会の役割と責務」を参照のこと）。

地区大会委員会
すべてのクラブが招待される（または出席資格のある）地区会合でロータリー財団補助金活動に関する報告をしなかった（または報告をする予定のない）場合は、その報告を地区大会の議題に組み入れる。

財務委員会
地区ロータリー財団委員長と協力して補助金資金を配分し、報告書の作成に備えて補助金活動の適切な記録や文書を保管する。

会員増強委員会
地区全域のロータリー財団と国際ロータリーの学友活動の調整を図り、会員勧誘を支援するとともに、入会候補者ともなるこれら学友のロータリーへの参加を促す。

広報委員会
ロータリー財団活動（ポリオ・プラス、補助金活動の成功、学友の活動、地区やロータリーへの賞や表彰）について広報する。

RI国際大会推進委員会
ロータリー財団に関連するすべての大会前・大会中の活動を推進する。

研修委員会
地区ガバナーおよび地区ロータリー財団委員長と協力し、地区ロータリー財団セミナー、地区協議会、会長エレクト研修セミナーを含む地区セミナーを計画、実施、推進する。

「3 リソース」のロータリー財団の項（26〜27ページ）に次のリソースを加えてください。

*未来の夢計画における地区ロータリー財団委員会の再編成に伴い、未来の夢計画の実施に必要な地区活動が反映されるよう、小委員会の構成がこれまでよりも簡素化されます。必要に応じてほかの小委員会を追加できる柔軟性が地区に与えられますが、「地区任命書式」にはプログラムごとの小委員会を記入する欄がなくなりました。担当分野に応じて、ほかのRI地区委員会にも財団関連の責務が割り当てられます。詳細は、www.rotary.orgからダウンロードできるロータリー財団章典をご参照ください。

リソース

RIのウェブサイト（www.rotary.org/ja）には、未来の夢計画の最新情報が掲載されています。最新情報の受信を希望する方は、月刊「未来の夢試験段階のニュースレター」の定期受信にお申し込みください。委員としての任務を遂行する上で、次のリソースが大いに役立ちます。

- 「会長エレクト研修セミナー指導者用手引き」未来の夢に関する補遺：未来の夢計画を反映し、ロータリー財団に関するセッション6が改訂されました。
- 「地区協議会指導者用手引き」未来の夢に関する補遺：クラブ・ロータリー財団委員会のためのすべてのセッションが改訂されました。「セッション1：役割と責務」には大幅な変更が加えられています。
- 「地区チーム研修セミナー指導者用手引き」未来の夢に関する補遺：わずかな変更が加えられた部分を説明しています。
- 「地区指導者育成セミナー研修リーダー用手引き」未来の夢に関する補遺：わずかな変更が加えられた部分を説明しています。

人材

- ロータリー財団地域コーディネーター補佐（ARRFC）：財団の年次寄付目標と恒久基金目標の達成に向けてロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）、地区、クラブを援助するとともに、ロータリー財団補助金についてロータリアンに情報を提供します。
- 地区ロータリー財団委員会： 地区のすべてのロータリー財団活動を監督する責務を担います。
- ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）：ロータリー財団全般に関して、地区とクラブを援助するために任命されたロータリアン。

お問い合わせ

- 未来の夢に関するお問い合わせ：futurevision@rotary.org
- ロータリー財団全般のお問い合わせ：日本事務局財団室（日本語）、またはcontact.center@rotary.org（英語のみ）

補遺資料4：効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標（30〜31ページ）

www.rotary.org/RIdocuments/ja_doc/fv_club_planning_guide_ja.doc